

6 時間目の授業

- (1) 目標
筆者の論理を分析し，評価するという作業を通して，自分の考えを深める。
- (2) 展開

過程	学習活動	指導・支援 * 評価
導 入	<p>1 本時の目標を確認する。</p> <p>2 本時の目標を踏まえながら，第1時から第5時までのノートやワークシートを確認する。</p>	<p>第1時から第5時までの授業を通して見えてきた筆者の論理に関する気付きや感想について分析し，筆者の論理を評価する作業を行うことを伝える。</p> <p>特にワークシートの「気付き」の欄（分析・評価の材料）を振り返るように指示する。</p>
展 開	<p>3 分析・評価の方法を具体的に確認する。</p> <p>（手順1） ・筆者の論理や考え方について，ワークシートの「気付き」の欄に書き記した内容を参考にして評価（価値判断）を行う。</p> <p>（手順2） ・自分が下した評価（価値判断）に関係すると思われる本文の主張や構成，具体例，キーワードの内容や関係性等について分析する。</p> <p>（手順3） ・分析した内容を基に，評価文を作成する。</p> <p>4 作成した評価文について，グループで話し合う。</p>	<p>分析の意図と評価の在り方について説明する。また，規範的分析（価値判断を含む分析）を行うことを伝える。</p> <p>文章全体についての評価でも，ある一部分についての評価でもどちらでも構わないことを伝える。</p> <p>否定的な評価であっても，肯定的な評価であっても，必ず本文の表現に関する分析を行うように指示する。また，自分の評価に関する論拠として，別の論理や考え方を援用しても構わないことを伝える。</p> <p>論理展開に注意しながら，評価文を書かせる。</p> <p>小論文との関連性について説明する。</p> <p>* 筆者の論理や考え方を分析し，評価している。 【ワークシート，観察】</p> <p>分析の視点や評価の論拠について中心的に話し合うように伝える。</p> <p>評価そのものが的確かどうかよりも，「分析がなされているか」「論拠を書いているか」という点に注目するように指示する。</p> <p>「道徳・倫理」について自分の考えをまとめる作業を最後に行うことを伝え，他の生徒の「道徳観・倫理観」についても確認しておくように伝える。</p>
終 末	<p>5 筆者の論理や考え方についての分析・評価を基に，「道徳・倫理」についての自分の考えをまとめる。</p>	<p>「本文とのつながり」や「自分の過去の経験」等を考慮に入れながら，「道徳・倫理」に対する自分の考えを振り返らせる。</p>